



只見町
町制施行
60周年
記念事業

子どもたちが 独自の視点で町政を問う 子ども議会開催



9月3日、町制施行60周年記念事業として、約10年ぶりとなる「子ども議会」が役場議場で開催されました。子ども議員は町内3小学校の6年生6名と只見中学校3年生3名の計9名が務め、1問1答形式で行われた質問に対して町当局が答弁をする、議会本番さながらの進行により実施されました。

子ども議員の皆さんは、開会前は非常に緊張した様子でしたが、自分の番が来ると町の現状・課題に対し、独自の視点で堂々と質問を行いました（質問・答弁内容はP11参照）。

今回、子ども議員の皆さんからいただいた貴重な意見やアイデアについては、可能な限り町政に反映できるよう進めていく予定です。



▲議場の様子。議会本番さながらの進行で行われた



▲子ども議員からの質問に対して答弁をする町当局

子ども議員からの質問と町当局からの答弁(一部)



只見小学校6年 **酒井 麗** 議員

只見高校の入学定員数の削減に反対する。

(答)只見高校は地域活力の源泉である。町になくてはならない貴重な地域資源として、現状での存続維持を強く県に求めている。引き続き、地域との協働による教育を充実させ、人材育成に努める。



只見小学校6年 **矢沢 亮太** 議員

只見町に道の駅をつかってほしい。

(答)現在、道の駅基本構想の策定に向けた検討を行っており、八十里越開通時のオープンを目指している。生産者や利用者、若者や事業経営者など様々な方に計画づくりに参加いただきたい。



朝日小学校6年 **渡部 柊** 議員

高齢者が安心して生活できるまちづくりを推進してほしい。公共施設を中心に、スロープや手すり、エレベーターの設置を進めるべきだと思う。

(答)朝日診療所、只見振興センターなどはそのような設備がある。また、緊急通報システムや配食サービス、除雪支援などの高齢者向けの取組も実施している。



朝日小学校6年 **菅家 岳人** 議員

学校のWi-Fi環境を整えてほしい。インターネット動画やタブレット端末を活用した学習を導入すべき。

(答)Wi-Fi環境を含めたICT(情報通信技術)環境の整備を予定している。情報処理社会に対応できる人材の育成や情報モラル教育を推進していきたい。



明和小学校6年 **大束 咲来** 議員

八十里越開通に町としてどのような期待を持ち、新潟県とどういった交流を考えているか。

(答)町内の農産物、地場産品を買っていただける機会や商店・レストラン・観光施設の利用機会が増えることが期待される。また、新潟県とは観光、公共交通、医療や教育など様々な分野で交流を進めていきたい。



明和小学校6年 **大竹 蓮斗** 議員

人口増加のために町ではどのような取組をしているのか。

(答)移住をしたい方や農業を始めたい方に町の魅力をPRするとともに、町営住宅の建設や空き家活用の助成制度を作ることなど、只見で生活していくための環境整備も進めている。



只見中学校3年 **橋川 綾乃** 議員

サンドバレーコート(亀岡)を作った理由は何か。

(答)地域活性化のため。宿泊・飲食業への波及効果や只見川に積もった砂の利用、高齢者の健康づくりなど様々な活用ができることを想定した。現在、クラブ活動などでの合宿誘致により誘客促進を図っている。



只見中学校3年 **山内 友斗** 議員

今後増えるであろう外国人労働者や観光客のためにどのような取組をしていくのか。

(答)町内企業で外国人労働者を既に受け入れており、地域の方々と交流を深めるための活動を行っている。観光客については、案内表示の多言語化に加え、コミュニケーションボードや翻訳機の整備を進めている。



只見中学校3年 **星 竜之介** 議員

大手コンビニエンスストアを誘致し、湯ら里や周辺スポーツ施設との複合施設とするのはどうか。

(答)コンビニエンスストアの誘致は町民共通の願いだが、様々な条件から営業可能かどうか判断される。今後、交流人口の拡大等を図り、新たな商業施設の出店が可能になるよう努めたい。

子ども議員と4校(3小学校及び只見中学校)の校長先生

